

園長	主任

保育園の自己評価について（令和5年度）

「保育所保育指針」の第4章 保育の計画及び評価に保育士等と保育所の自己評価が努力義務として示されています。保育所の自己評価について、保育指針では次のように規定されています。

「保育所は、保育士の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」と記載してあります。そこで、日の丸保育園では保育士の自己評価を年2回実施し、その結果を受け本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせるよう自己評価を実施しています。

【記入方法】

- ◎A・B・C・Dの4段階評価です。
- ◎項目ごとに、意見・改善策があれば記述する。

A：たいへん良い
 B：良い
 C：一部検討を要する
 D：改善を要する

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、園児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		●			園の保育目標については、全職員が理解をし、園が一つになって行動している。
	(2)目標は、地域の特色を生かしているか。		●			
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		●			
	(4)目標は、前年度の反省をいかしているか。	●				
	(5)目標は、全職員で共通理解を図っているか。	●				
保育について	(1)指導計画は園児の実態に即して作成しているか。		●			それぞれの職員が自己評価を行い、さらに次年度への目標・改善を記してあるのでその目標を実行してほしい。
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行なっているか。		●			
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	●				
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。	●				
	(5)評価結果を基に、保育改善に努めているか。		●			
設日 定時	(1)1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。	●				穏やかに園生活を過ごしている。

行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。		●			徐々に行事を復活し、子ども達と触れ合う時間が増えていった。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	●				
	(3)園児の活動範囲を明確にし、自主性・実践的な活動をしているか。	●				
	(4)計画・実施・評価・改善を行っているか。	●				
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。	●				

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
分掌・体制	(1)能率的・合理的な運営組織になっているか。		●			クラス運営もスムーズにいき、園児の情緒も安定していた。
	(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		●			
	(3)職員の配置は適材・適所か。		●			
	(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		●			
運営	(1)各種会議を適切かつ能率的にしているか。	●				全体職員会議を行うことになり職員の共通理解が増した。
	(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	●				
	(3)打合わせ回数・時間・内容は適切か。	●				
運営・組織	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		●			自己評価や日々の保育を見る限りクラス運営や職員間同士のコミュニケーションは適正に行われている。
	(2)年齢別・クラス目標は、園児の実態に即して設定しているか。	●				
	(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	●				
	(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		●			
	(5)意義や趣旨を理解した保育を職員間で行っているか。		●			
	(6)評価・資料（諸記録）を集積しているか。	●				
保健・安全指導	(1)年齢別・クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		●			避難訓練等の計画や実施、また健康面への配慮などは適正に行われている。
	(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		●			
	(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	●				
	(4)園児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	●				

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		●			園内、市内、県内研修には出来るだけ参加してきた	
	(2)園内研修の計画・運営は適切か。		●				
	(3)研究の成果を日常の保育に生かし、園児の育ちに反映させているか。		●				
	(4)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		●				
	(5)各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		●				
情報について	(1)園児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	●				個人情報については、自己評価の結果、職員も適正に取り扱っており、その他の情報についても適切である。	
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	●					
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		●				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	●				サスマタ購入	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	●					
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	●					
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	●					
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	●				適正適切である。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		●			学校や地域の行事などに、徐々にではあるが参加した。
		(2)他施設等の園児生徒と触れ合う中で、園児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		●			
		(3)指導者同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。			●		
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、保育園・小学校の教育を理解しているか。	●				
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	●				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
家庭地域社会との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。				●	保護者関係者以外の方が、園内に入るリスクもあるがその問題をクリアできれば地域との連携や交流も出来るのではないかと。木育体験などを行った。
	(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		●			
	(3)園児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		●			
	(4)地域の行事等に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				●	
開かれた保育所づくり 子育て支援の推進	(1)地域の子育て支援センターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	●				コロナ5類移行後は、支援センターの行事も復活し、来園者も戻りつつある。
	(2)地域に住む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	●				
	(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		●			
	(4)職員による育児に係わる「子育て相談」は充実しているか。		●			
	(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		●			
情報の発信	(1)園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	●				ホームページにて、日々の様子をブログにUPしている
	(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			●		
外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				●	地域や保護者の意見の取り入れ方については、どういった形で聞き入れるかは課題である。
	(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。			●		